不正アクセスによるSPAMメールの送信及び個人情報の漏えいについて

本学が発行するメールアカウントに対して、第三者による不正アクセスが行われ、 このメールアカウントを踏み台にして外部へSPAMメールが送信されるという インシデントが2件発生しました。

さらに、メール送受信データの一部がダウンロードされ、本学学生、教職員、卒業生及び学外者の個人情報漏えいが確認されました。

現在まで、漏えいした個人情報に関わる二次被害は確認されておりませんが、関係する皆様には、大変なご迷惑をお掛けすることになり、深くお詫び申し上げます。 なお、本件については、既に文部科学省及び個人情報保護委員会に報告しております。

1 インシデントの概要

(1) 職員メールアカウントへの不正アクセス

本年6月30日(土),本学専任職員1名のメールアカウントに対し,第三者による不正なアクセスが行われ,このアカウントから外部へ415件のSPA Mメールが送信されました。

また,該当アカウントの送受信データ及び添付書類がダウンロードされ,外 部に漏えいしたことが判明しました。

調査の結果、漏えいした送受信メールデータの中に、本学学生、教職員、卒業生及び学外者の個人情報が含まれていることを確認しました。

(2) 部署メールアカウントへの不正アクセス

本年7月12日(木),本学所属機関のメールアカウントに対し、第三者による不正なアクセスが行われ、このアカウントから外部へ30件のSPAMメールが送信されました。

また,該当アカウントの送受信データ及び添付書類がダウンロードされ,外 部に漏えいしたことが判明しました。

調査の結果、漏えいした送受信メールデータの中に、本学学生、教職員、卒業生及び学外者の個人情報が含まれていることを確認しました。

2 被害状況

	(1) 職員メールアカウントへの不正アクセス	(2) 部署メールアカウントへの不正アクセス
① SPAMメール送信 件数	4 1 5 件	30件
② 漏えいメール件数	3 3 2 件	1168件
③ 個人情報が漏えいした方		
④ メールアカウントの み漏えいした方	6 9 名	201名

3 個人情報が漏えいした方への対応

個人情報が漏えいした方へは、既に当該部署より個別に状況説明と謝罪の連絡を行いました。

なお、現在のところ二次被害の報告はありませんが、発生した場合は適切に対処していく所存です。

4 今後の再発防止策

本学では、今回の事案が発生したことを踏まえ、学内情報システムで使用しているアカウント及びパスワードについて、より一層の厳重管理をするようルール化し、周知徹底を図ります。

また,外部専門機関と連携しながら監視体制を強化し,情報システム全体のセキュリティを向上させ,個人情報の更なる適正管理に努めます。

以上

対応窓口:情報メディア部

システム企画事務室

Tel 03-3296-4126